

令和 8 年 3 月期 決算概要 (連結)

1. 連結決算実績

表の右側の丸囲み番号について、2ページ以降に解説を記載しています。

(単位：億円 (単位未満切捨て))

区分		R7年度 実績 A	R6年度 実績 B	増 減	
				A - B	(A - B)/B %
営業収益	高速道路事業	12,309	11,975	333	2.8
	料金収入	8,041	7,801	240	3.1 ①
	道路資産完成高	4,229	4,131	97	2.4 ②
	その他	38	42	▲ 3	▲ 8.9
	関連事業	524	481	42	8.9
	SA・PA事業	348	331	16	5.1 ⑦
	その他の事業	176	150	26	17.4
計		12,833	12,457	376	3.0
営業費用	高速道路事業	12,359	11,966	392	3.3
	道路資産賃借料	5,740	5,554	185	3.3 ④
	道路資産完成原価	4,229	4,131	97	2.4 ③
	管理費用	2,390	2,280	109	4.8 ⑤
	関連事業	465	421	43	10.3
	SA・PA事業	299	279	19	7.1 ⑧
	その他の事業	166	142	23	16.6
計		12,824	12,388	435	3.5
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	▲ 50	8	▲ 58	— ⑥
	関連事業	58	59	▲ 0	▲ 1.1 ⑩
	(うちSA・PA事業)	49	52	▲ 3	▲ 6.0 ⑨
計		8	68	▲ 59	▲ 87.1 ⑪
経常利益		80	111	▲ 31	▲ 28.1
当期純利益 ※ 1		66	91	▲ 24	▲ 26.9 ⑫

※1 「当期純利益」には、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

(注) 当社グループの事業区分及びその主要内容は、以下のとおりです。

事業区分	主要内容	
高速道路事業	高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	
関連事業	SA・PA事業	高速道路の休憩所、給油所等の建設、管理
	その他の事業	受託事業、駐車場事業、トラクター・ミナル事業、不動産事業等

※文中の丸囲み番号は、1 ページの表の右側に記載の番号と対応しています。

2. 連結決算実績の解説

(1) 高速道路事業

- ① 管内の高速道路の通行台数は、対前期 2.3%増の 313 万台/日となり、料金収入は、対前期 240 億円 (3.1%) 増の 8,041 億円となりました。
- ②③ 道路資産完成高は、E56 松山自動車道 伊予 (いよ) IC~内子五十崎 (うちこいかざき) IC 及び E78 東九州自動車道 (隼人 (はやと) 道路) 隼人東 (はやとひがし) IC~隼人西 (はやとにし) IC の 4 車線化事業の完成などがあり、対前期 97 億円増の 4,229 億円となりました。
 なお、道路建設に要した経費と同額の債務を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 (以下「高速道路機構」といいます。) に引き渡すため、道路資産完成高は、道路資産完成原価と同額となり、営業利益に影響しません。
- ④ 高速道路機構に対する道路資産賃借料は、料金収入の増加に伴い、対前期 185 億円増の 5,740 億円となりました。
- ⑤ 管理費用は、労務費や資材価格の上昇及び補修費用の増加などにより、対前期 109 億円増の 2,390 億円となりました。
- ⑥ 上記の結果、高速道路事業は 50 億円の営業損失となりました。(前期は 8 億円の営業利益)

区分		R7 年度実績	対前期増減
営業収益	料金収入	8,041 億円	+ 240 億円
	その他	38 億円	▲3 億円
営業費用	道路資産賃借料	5,740 億円	+ 185 億円
	管理費用	2,390 億円	+ 109 億円
営業利益		▲50 億円	▲58 億円

(2) 関連事業

- ⑦⑧ S A・P A の飲食物販売上高は、対前期 49 億円 (4.8%) 増の 1,066 億円となり、S A・P A 事業の営業収益は、対前期 16 億円 (5.1%) 増の 348 億円となりました。
- ⑨⑩ S A・P A 事業の営業利益は、収益が増加したものの、売上原価の増加や人件費の上昇に加え、北熊本 SA (R6 年度オープン) の店舗改良に係る撤去費用等の一時的な費用の発生が影響し、対前期 3 億円減の 49 億円となりました。
 関連事業全体では前期と同水準の 58 億円となりました。

(3) 全事業

- ⑪ 全事業営業利益は、対前期 59 億円減の 8 億円となりました。
- ⑫ 当期純利益は、対前期 24 億円減の 66 億円となりました。

【参考1】 個別決算実績

(単位：億円 (単位未満切捨て))

区分		R7年度 実績 A	R6年度 実績 B	増 減	
				A - B	(A - B)/B %
営業収益	高速道路事業	12,282	11,944	338	2.8
	料金収入	8,043	7,803	239	3.1
	道路資産完成高	4,229	4,131	97	2.4
	その他	10	9	1	11.1
	関連事業	240	215	24	11.4
	SA・PA事業	115	112	2	2.4
	その他の事業	125	103	21	21.3
	計	12,523	12,160	362	3.0
営業費用	高速道路事業	12,348	11,956	391	3.3
	道路資産賃借料	5,740	5,554	185	3.3
	道路資産完成原価	4,229	4,131	97	2.4
	管理費用	2,379	2,270	108	4.8
	関連事業	230	201	29	14.7
	SA・PA事業	109	98	10	11.1
	その他の事業	121	102	18	18.2
	計	12,579	12,157	421	3.5
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	▲ 65	▲ 11	▲ 53	—
	関連事業	9	14	▲ 4	▲ 34.2
	(うちSA・PA事業)	5	13	▲ 8	▲ 60.3
	計	▲ 55	2	▲ 58	—
経常利益		32	63	▲ 31	▲ 49.3
当期純利益		31	59	▲ 27	▲ 46.4

【参考2】業績予想

(単位：億円)

区分		連 結			個 別
		R8年度 予想 A	R7年度 実績 B	増 減 A - B	R8年度 予想 ※1
営業収益	高速道路事業	24,719	12,309	12,410	24,719
	料金収入	7,901	8,041	▲ 140	7,901
	道路資産完成高	16,818	4,229	12,589	16,818
	その他	—	38	▲ 38	—
	関連事業	531	524	7	254
	SA・PA事業	359	348	11	125
	その他の事業	172	176	▲ 4	129
	計	25,250	12,833	12,417	24,973
営業費用	高速道路事業	24,709	12,359	12,350	24,709
	道路資産賃借料	5,626	5,740	▲ 114	5,626
	道路資産完成原価	16,826	4,229	12,597	16,826
	管理費用	2,257	2,390	▲ 133	2,257
	関連事業	473	465	8	231
	SA・PA事業	311	299	12	108
	その他の事業	162	166	▲ 4	123
	計	25,182	12,824	12,358	24,940
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	10	▲ 50	60	10
	関連事業	58	58	0	23
	(うちSA・PA事業)	48	49	▲ 1	17
	計	68	8	60	33
経常利益		62	80	▲ 18	15
当期純利益		49	66	▲ 17	11

※1 令和8年4月10日付で国土交通大臣より認可を受けた、令和8事業年度事業計画における収支予算を記載しています。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。